

EA818EB - 11 グラインダー-用ルーターアタッチメント)取扱説明書

(アメリカ)

このたびは、本商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。感電・火災・けがの原因になりますので、下記の指示を必ず守ってください。

⚠ 警告

- ・電気配線や、グラインダーの電源コードに接触する可能性のある作業中は、グラインダーの絶縁体で覆われたグリップ部分を持ってください。金属部分に触れての作業は、感電の恐れがあります。
- ・ビット・グラインダーが脱落したり、破損する原因になりますので、切削する箇所に釘などの異物が無いことを確認してから作業してください。
- ・片方の手で加工物を持ち、もう一方の手でグラインダーを持って使用しないでください。
- ・決して切断面の近くに手を置かないでください。
- ・作業中は常に安全ゴーグルや防塵マスクをしてください。
- ・じゅうぶんに換気された場所でお使いください。安全用具の使用や安全な環境での作業が、けがの危険を減少させます。
- ・ビットの交換や各部の調整後は、コレットナットや他の調整部が安全に締め付けられているか確認してください。調整部が緩んでいる場合、コントロールを失ったり、回転している部品が激しく投げつけられる恐れがあります。
- ・コントロールを失う危険がありますので、ビットが加工物に噛み合った状態でグラインダーを始動しないでください。
- ・感電・火災・けがの原因になりますので、指示を必ず守ってください。
- ・安定性と操作性を良くするために、グラインダーをしっかりと取り付け、加工物にぴったりと接した状態で切削をしてください。
- ・磨り減ったり破損しているビットは決して使用しないでください。鋭利なビットは注意して取り扱ってください。
- ・使用中・使用直後はビットが熱くなっていますので、決して手で触れないでください。
- ・モーターが完全に停止するまで、グラインダーを下に置かないでください。
- ・ルーターアタッチメントのベースの穴よりも切断直径の大きなビットを使用しないでください。

特長

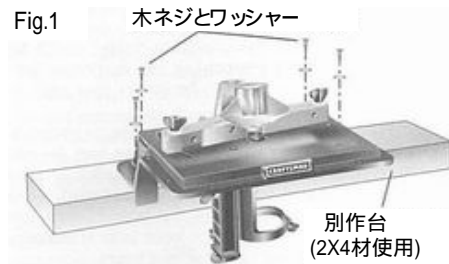
本商品を取り付けることで下記のグラインダーを、フリーハンドやエッジガイドを使っでの切削・縁取り・溝付け・円カットをすることのできるルーターとして使用することができます。

適合グラインダー...EA818EA、EC、ED

⚠ 警告 ご使用の前にグラインダー本体の「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくお使い下さい。感電・火災・けがの原因になりますので、必ず指示を守って下さい。

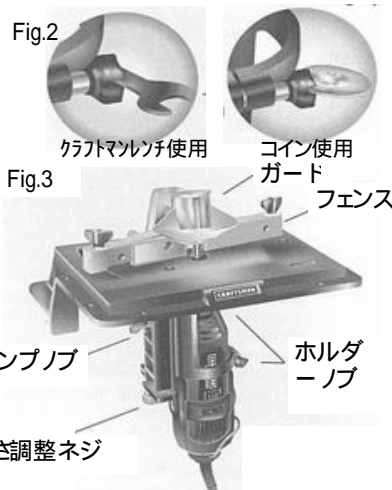
作業台への取り付け

当製品を作業台へ木ネジとワッシャーを4つずつ使って取り付けます。また移動しやすくするには2X4材を使った台に取り付けます。こうすればワークベンチに挟んで使用する事が簡単にできます。(Fig.1)



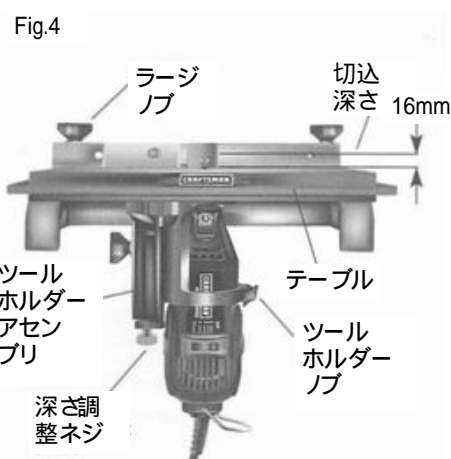
グラインダーのセット方法

- 1、 クランプノブを緩め深さ調整ネジをホルダーの下まで降ろします。
- 2、 ホルダーノブを緩めます。
ノブを回す時はクラフトマンレンチ(グラインダーに付属)かコインを使って下さい。(Fig.2)ドライバーを使うとノブを傷めます。
- 3、 2箇所のホルダーにグラインダーを真っ直ぐに通します、その時スイッチは正面に向いています。(スイッチを正面にして左から右に動かすとグラインダーは止まります)
グラインダーのノーズを小さいホルダーが掴んでいることを確認して下さい。(Fig.3)



ルータービットのセット方法

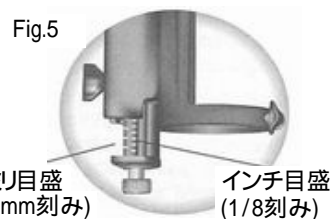
- 1、 ルータービットをセットする時は電源プラグが外れていることを確認して下さい。そしてグラインダーを取り外して下さい。コレットにルータービットをセットして先端がテーブルより16mm以内に突き出すところでコレットナットを締めます。シャフトボタンを使ってレンチでビットを固定します(Fig.4)
- 2、 クランプノブを緩め深さ調整ネジを回し切り込み深さを調整します。テーブルから出たビットの高さが切り込み深さになります。



切り込み深さの調整方法

ツールホルダーの側面に調整用目盛が刻まれています。(インチ/ミリ) 希望の深さまで深さ調整ネジを回しセットします。

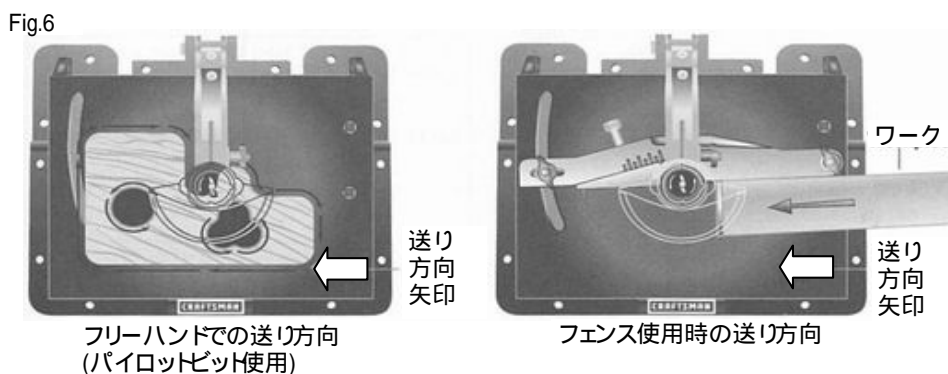
切り粉の分も計算に入れて確実にセットして下さい。(Fig.5)



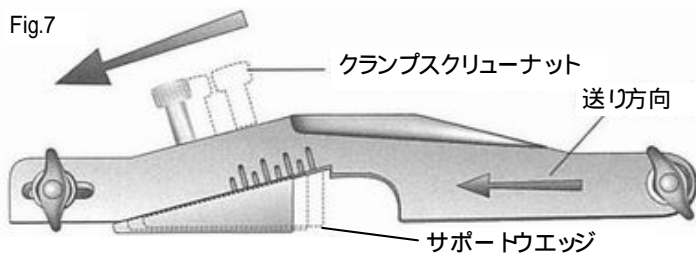
ルーターの送り方向

ルーターの軸は上から見た時に左(反時計)方向に回ります。綺麗に効率よく切るにはワークを図の方向に送ることでワークはフェンス側に引きつけられようとします。間違った方向に送ればワークはビットに引かれるように想定外に速く進むでしょう。(クライムカッティング)

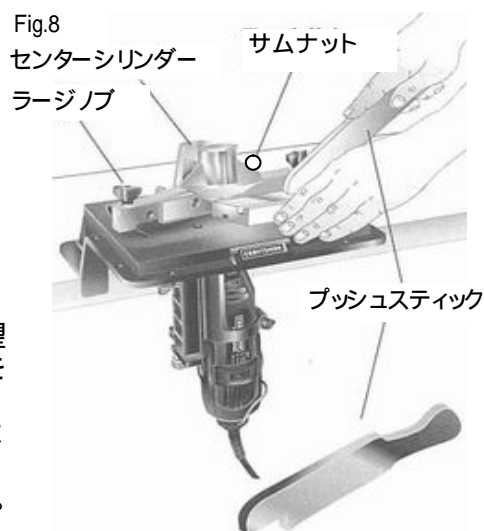
図のように右から左へ送って下さい。フェンスを使用時も不要時(パイロットビット使用)も送り方向を守って下さい(Fig.6)



フェンスを使ったルーティング



- 1、フェンスの調整やビットの交換の前にはグラインダーの電源プラグを抜いて下さい。フェンスを使う作業の多くはサポートウエッジを右にセットしてフェンスを一直線に揃えて使います。(Fig.7)
- 2、フェンスを使って切る時はセンターシリンダーを上げて調整することができます。サムナットを緩めてシリンダーを持ち上げてからしっかり締めます。
- 3、小さいまたは細いワークの加工をするときはプッシュスティックを使って下さい。6mmX50mmX200mm位の木材をFig.8の絵のように切って作ります。これを使えば安全に作業する事ができます。
- 4、真っ直ぐな溝を切るにはビットを入れ深さ調整ネジ(Fig.4)で深さをセットして下さい。ラジノブを緩めフェンスを希望する位置に合わせて締めて下さい。端材などで試し切りをして溝の深さや位置を確認して下さい。
- 5、ワークの全ての縁にカンナがけする時サポートウエッジはテーブルの左側のワークを支えるように調整することができます。約5 cm試し切りし削れたところを測って下さい。ツールのスイッチを切りクランプスクリーナットを緩め、ワークの縁にウエッジが当たるまで左にスライドさせます。クランプスクリーナットを締め直し、ワークはルータービットの両側にサポートされます。1.6mm以上隔たりがある時、サポートウエッジが正確に調整されていないときれいに縁をカンナがけできないでしょう。



警告 ルータービット等と作業中のフェンスの間にワークを置かないでください。この配置はワークへの反動が大きくなる原因になるでしょう。

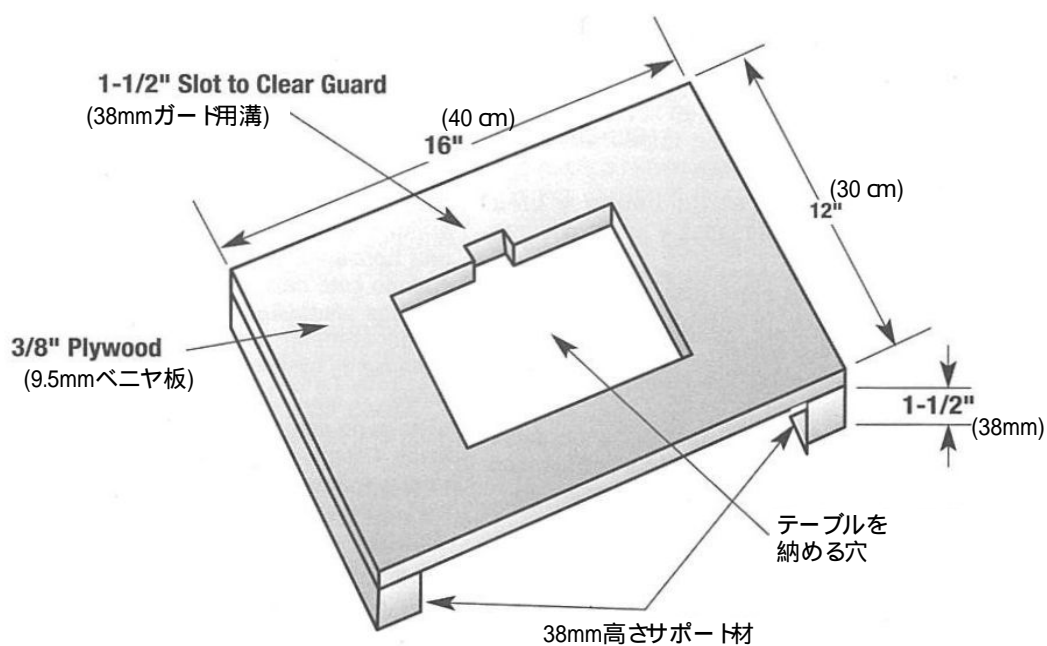
パイロットビットを使ったルーティング

- 1、パイロットビットを使うときはフェンスをしっかり後に動かし十分な作業スペースを確保してください。フェンスをビットの近くに保てばフェンスを背面のガードとして利用できます。また特別にフェンスを外して使わなければならない場合はガードのセンターシリンダーで刃先から保護してください。
- 2、パイロットビットのみでフェンスを使わず使用する事ができます。ワークをカッターに当て右から左へ送ります。
- 3、ワークは一定の速度で途中で止めることなく送ってください。速度や力加減を変えると不揃いな仕上がりになります。

パイロットルータービット	ルータービット
EA818E-26	EA818E-25
EA818E-27	EA818E-21
	EA818E-23

作業テーブルの拡張

Fig. 9



テーブルは拡張し易く設計されています。厚さ9.5mmの固いベニヤ板を使います。ベニヤ板にテーブルが収まる長方形の穴を開け、長さ13mmの木ねじでしっかり止めます。ベニヤ板の両側に38mmのサポート材をしっかり固定します。(Fig.9)

株式会社 エスコ
本社 / 〒550-0012 大阪市西区立売堀 3 - 8 - 14
TEL: 06 6532-6226 FAX: 06 6541-0929
東京 / TEL: 03 3450-4003